

～創立30周年を迎えて～ 会長挨拶

川崎異業種研究会は、このたび創立30周年を迎えることが出来ました。これもひとえに、創立以来、変わらぬご愛顧とご支援をいただいた川崎商工会議所のご尽力をはじめ、会員の方々、会員会社の皆様、広域の行政機関の方々、関連の組織団体の方々のおかげと、心より感謝申し上げます。

当会は、1987(昭和62)年7月に設立されました。業種の枠組みを超えて川崎市に事業所が在る中小企業を中心とした会社が集まり、川崎の発展と地域での雇用および経営者の勉強の場を創出する目的で設立されたと聞いております。

川崎異業種研究会がある川崎は、日本の首都に隣接する工業都市として発展し、現在に至るまでに、工業だけでなく多様な業種が集まる都市としてさらに発展を続ける活気あふれるところになりました。その中で現在まで異業種間連携によるさまざまな活動を通して、変革の経済環境の中でも、会員の方々の活力となる独創性、探究心、開拓力を育ててきたのが当会ではないかと思っています。ここで諸先輩の皆様が作り上げてきたこの活動が受け継がれるように、大切に守っていききたいと考えています。



これから先の当会の活動が、川崎商工会議所と会員企業の発展に寄与することを願ひ、また今後も倍旧のご鞭撻とお力添えを賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

川崎異業種研究会  
会長 菅原 智照

創立30周年記念祝賀会 盛大に開催

5月11日(木)午後6時より、川崎異業種研究会創立30周年記念祝賀会が盛大に開催された。会場となった川崎日航ホテル橘の間は、当所山田会頭はじめ多くの来賓、会員、会員関係者総勢78名の出席があり熱気に満ちた。

司会進行は、当所任命のかわさき産業親善大使でもある落語家桂米多朗氏。軽妙な語り口で始まった会は、菅原会長の挨拶に始まり、山田会頭による来賓挨拶のあと、会長より当所への30年間の感謝を込めて、記念品の置時計が贈呈された。

続いて、株式会社川崎フロンターレ 代表取締役社長 葦科義弘様の乾杯ご発声で、会場はいっせいに祝賀モードに切り替わった。歓談中には、和光大学卒業生のマジシャン指江彬氏によるテーブルマジックがあり祝宴に華を添えた。途中、米多朗氏の「南京玉すだれ」も披露され会場は笑いに包まれた。

空気が和んだところで、発足時から会員を含め数名の会員が登壇し、創設期のエピソードや、共同開発した電子くす玉、国内外視察など、30年の歴史をふりかえった。会員が支えあいながら、形を変えて様々な挑戦を行ってきた様子がスライドを交えながら語られた。

ここで、30周年記念事業の一つである「復刻かわらばん」の紹介がなされた。「復刻かわらばん」は、30年という歴史の節目に、これまで当会を支えてくださった皆様への感謝を新たにするとともに、創立の原点や先人たちの歩みを記録として残し、次の世代へとつな

げていきたいという思いにより作成された記念誌である。ホームページにはアップされていない当会の会報第1号(1988年)～第106号(2007年)を復刻した。の中には会員の方々執筆した、シリーズ「決断の時」、「たのしいMY TIME」「自由空間」などエッセイ文が充実されている。経営者としての苦悩や喜びなど生の声が収められた貴重な財産とも言える一冊だ。是非折に触れて紐解いていただきたい。なお、この記念誌作成のために、当会オブザーバーである(有)アップル・Kの竹内氏が過去のデータを提供してくださった。そのご尽力にお礼が述べられた。

さて宴もデザートにさしかかった頃、仲田美穂 (p)CORAZON LATINO (コラソンラティーノ)によるラテンジャズコンサートが始まった。日本で数少ない女性ラテンピアニスト仲田美穂氏が率いるメンバーは、ボーカルはキューバ出身、サクソスはブラジル出身と国際色豊かだ。ラテンのリズムに会場が湧いた。

祝宴の最後に原顧問による閉会の言葉があり、川異研を今日まで紡いで来られた先輩方に感謝と敬意を、そして今後の活動への意気込みが力強く述べられた。その後、この日祝賀会の模様を始終写真に収めてくださっていた、会員の山本理事により集合写真が撮影された。2mの脚立よりカメラを構える山本理事に一同笑顔を向けた。

こうして、大きな節目である「創立30周年記念祝賀会」は数えきれない感謝とともに終了した。



30年の感謝を述べる菅原会長



山田会頭来賓挨拶



当所へ記念品(置時計)が贈呈されました



司会進行役の桂米多朗氏



株川崎フロンターレ 葦科義弘様 乾杯のご発声



株クレール 清水氏とたつみ工業株 岩根氏、創設期を語る



共同開発した電子くす玉のことを語る 株インフォメックス 木下氏と株工苑 野見山氏



ラテンジャズで盛り上がる



国内外視察について語る紀中顧問と原顧問



復刻かわらばんができたのは、竹内オブザーバーのおかげです



原顧問による閉会のことば

副会長「復刻かわらばんを作成しました」

加入のお問い合わせは

事務局：麻生支所 TEL 044-952-1191